

うつくしま総合型スポーツクラブユニオン自主事業 (研修会・情報交換)

研修会 <http://www.u-kouiki.jp/UNION/2015prf/prf1504.html> 交流会 <http://www.u-kouiki.jp/UNION/2015prf/prf1505.html>

二本松市岳温泉「陽日の郷 あづま館」を会場として、平成27年度うつくしま総合型スポーツクラブユニオン自主事業研修会が開催されました。県内各地より49名の方が参加されました。開会のあいさつでは、小林副会長より、研修会の意義や開催にご尽力いただいた県北ユニオンの方々へのお礼が述べられました。

研修会では、はじめに東京海上日動火災保険株式会社の大内氏を講師として「クラブ運営に係るリスクマネジメント」について情報提供をしていただきました。クラブ活動中に多い事故や怪我、その対処の方法、また、それを回避するための方策について詳細な資料のもと、分かりやすく説明していただきました。

全体会では、特定非営利活動法人ただみコミュニティーゼネラルマネージャー平山康夫氏より「これからの県ユニオンが目指すもの」と題して講話をいただきました。県ユニオンとして収益を上げていくための方策等について、具体的な事例を挙げて説明していただきました。柔軟な発想に基づいた企画力とそれを計画に移し実行していく実践力がますます重要になってくることを理解することができました。

平山氏の講話を受け、グループディスカッションでは「県ユニオンが取り組むべき事業とは」、「東京オリンピック・パラリンピックに向けてできることとは」について、活発な意見交換が行われました。

研修会終了後には情報交換会が行われ、34名の方が参加されました。はじめに、二本松市教育委員会教育長 小泉裕明氏より歓迎の言葉が述べられました。

情報交換会は和やかな雰囲気のもと、クラブの近況や今後の事業展開について意見交換が行われました。日頃意見を交わすことができない方々との交流を通して、さまざまな考えを共有することができる情報会となりました。



大内氏による情報提供
豊富な資料のもと、わかりやすい説明をしていただきました。



平山氏による講演
県ユニオンの事業の方向性に示唆を与えていただきました。



二本松市教育委員会教育長
小泉氏より、歓迎の言葉が述べられました。



多くの方々と情報を交換し
合い、有意義な会となりました。

うつくしま総合型スポーツクラブユニオン交流事業 「秋を楽しもう ウォーキング交流会」

自主事業の2日目は、「秋を楽しもう ウォーキング交流会」を岳温泉周辺ウォーキングコースで開催しました。本交流会は県北ユニオンの実行委員が中心となって運営されました。当日はあいにくの天候でしたが、184名の参加者が自分の体力に応じて4.5km、11kmコースに分かれ、紅葉が鮮やかな岳温泉の雄大な自然を満喫しました。参加者は、1日目の研修会では交流できなかった方々とも会話を楽しみながらウォーキングに取り組み親睦を深めました。

また、終了後には、おいしい豚汁が振る舞われました。体を動かした後の豚汁の味は格別でした。また、温泉割引券も配布され、疲れた体を温泉で癒す参加者も数多くいました。事務局として、大会成功に向けて準備・運営にご尽力いただきました県北ユニオンの皆様、大変お世話になりました。



開会式では、うつくしま広域スポーツセンター事務局長佐藤弘樹よりあいさつが述べられました。



参加者の皆さんは、思い思いのペースでウォーキングを楽しんでいました。



事務局のエフ・スポーツをはじめ、実行委員の皆様、ありがとうございました。

東北ブロックネットワークアクション2015

<http://www.u-kouiki.jp/INF/inf00.html>

東北6県より89名の総合型スポーツクラブのクラブ関係者が参加され、「東北ブロッククラブネットワークアクション2015」が岩手大学を会場として開催されました。

開会式では、高橋一二三氏（岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会副会長）より開会のあいさつ、高橋三郎氏（東北ブロック常任幹事）より主催者あいさつがありました。また、情報提供では、小林 寛氏（日本体育協会地域スポーツ推進部部長）より、日本体育協会の紹介や助成金の活用、助成金を受ける団体の心得、持続可能な総合型地域スポーツクラブの推進に向けた取組の指針と評価指標についての説明がありました。

今年のネットワークアクションでは持続可能なクラブ作り、地域コミュニティの創造をテーマに開催されました。開会式後の話題提供では「うまくいっているクラブ」、「一時期危なかったが、乗り越えたクラブ」、「今は困っているけど、見通しがあるクラブ」等の視点から報告がありました。福島県からはFULLSPOの矢内さんが「様々な課題を抱えているクラブ」として話題提供していただきました。

フロアディスカッションでは話題提供者に対してさらに詳しく質問をしたり、意見交換をしたりするなどしてかなり熱のこもった議論がなされました。



あいさつをする高橋三郎氏

体育館でのスポーツ体験会では、岩手県内の総合型クラブで行われているスポーツ種目の紹介や体験会が行われ、キンボールやスポーツ吹矢、室内雪合戦、玉入れなどを実際に体験することができました。



スポーツ体験会でスポーツ吹矢、キンボールを行っている様子。

2日目は各県クラブアドバイザーから各県のクラブの活動状況や課題、連絡協議会としての今後の取り組みなどについて発表がありました。本県の半澤クラブアドバイザーからは基点クラブ支援事業についての説明や原子力災害における帰町帰村によるクラブの現状など、本県独自の状況について発表されました。

グループ・ワークでは1日目の情報提供をもとにした各クラブの課題や解決策、今後のクラブ間の連携をどう深めていかなどグループごとにテーマを決め意見交換が行われました。浅沼道成氏（実行委員会副委員長）によるまとめではどのグループも各クラブの事業に関する新たな発想の工夫やネットワーク化に踏み出してきているとの様子が伝えられ、総合型スポーツクラブが次のステージへ移行する様子を感じられるようになったとの感想でまとめられました。



本県のクラブの状況や取組について発表をする半澤由美子クラブアドバイザー

ふくしま大運動会 in 南会津

<http://www.u-kouiki.jp/INF/2015/2015-11.html>

11月1日（日）秋が深まる南会津町立松沢小学校を会場として、ふくしま大運動会 in 南会津が盛大に開催されました。この運動会は東京都と一般社団法人日本アスリート会議の主催で開催され県内4カ所で行われています。平成25年度にも南会津町で開催されました。

2年ぶりに開催された今回は、講師として北京オリンピック陸上4×100mリレー銅メダリストの朝原宣治氏、塚原直貴氏、世界陸上走り幅跳び日本代表の荒川大輔氏をお招きし、南会津町の小学生約70名が参加して陸上教室が行われました。

開会式では、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部事業推進課長の内藤典子氏が主催者挨拶を述べられ、南会津町長の大宅宗吉氏が来賓祝辞を述べられました。

【スポーツクリニック】

午前中は、スポーツクリニックが行われました。指導を受けた子ども達は、走り方の基本動作やそのポイントの解説を受けながら、楽しく真剣に取り組みました。講師の先生方も手本を示しながら動きやリズムをわかりやすく解説してくださいました。特に、馬の走る音を実際に四つん這いになって奏でる朝原氏の動きには全員が注目し、馬の走る音が聞こえると大きな歓声が上がりました。



【スポーツクリニックの様子】
講師による走り方のクリニックです。どの教室も元気に楽しく行われました。

【チャレンジスポーツ】

午後は、チャレンジスポーツが行われ、グループに分かれた子ども達がリレーを楽しみました。各回の1位チームはアスリートチームに挑戦できることから真剣でした。決勝は、3チームの子ども達とアスリートチームで行われ、アスリートの方々が時折見せるダッシュのスピードに会場にいた方々は感動していました。リレーの最後には、朝原氏が北京オリンピックでゴール後に行ったバトンを放り投げるシーンも再現され会場を盛り上げていただきました。



【バトンパス指導の様子】

リレー終了後、バトンパスの仕方について指導していただきました。オーバーハンドパス、アンダーハンドパスを実際に見せてくれました。

【スポーツトークショー】

最後は、スポーツトークが行われ、会津大学の中澤謙氏が進行を務め、運動会の感想やアスリートとして互いのことをどのように感じているのかなど、アスリートの心にせまるトークショーとなりました。最後に塚原氏からは「夢をもつ大切さ」、朝原氏からは「今、していることに全力で取り組むこと」、荒川氏からは「好きなことに本気で取り組むこと」など熱いメッセージが贈られ、大盛況のうちに閉会することができました。

今回の大運動会では、主管団体であるNPO法人ひのきスポーツクラブの方々が企画立案、調整、運営、さらには準備や片付けなどのマネジメントを行い、南会津町、関係団体の全面協力で開催されました。天候にも恵まれすばらしい運動会になりました。



【スポーツトークショーの様子】

中澤謙氏の進行で行われました。参加者からの質問にも丁寧に対応していただきました。

基点クラブ支援事業相馬地区クラブ視察研修

<http://www.u-kouji.jp/INF/2015/2015-13.html>

<http://www.u-kouji.jp>

相馬地区視察研修会が行われました。視察先として訪れた一般社団法人塩釜フットボールクラブ（以下塩釜FC）は、東日本大震災において相馬地区と同様に大きな被害を受けた地域で活動を行っているクラブです。地域に根ざしたクラブとはどのようなクラブなのか、今後どのようなクラブ作りを進めていけば良いのかという視点で視察させていただきました。

塩釜FCは、1964年に現在の塩釜FCの前身となる塩釜サッカースポーツ少年団として設立され、1985年に塩釜FCが誕生すると、総合型スポーツクラブを目指し1994年に社団法人化しました。サッカー経験のない前理事長の小幡忠義氏が子どもたちの目に輝きがないと感じ何かしなければならぬの思いからはじめたのがきっかけでした。自分達で指定管理を受けたグラウンドの芝の種まきからスタートする大変な苦労をされました。

また、何度もドイツに視察に出向いては、地域のなかにしっかりと根づいているクラブを目にすることで日本でも同じような地域の人達が喜びしくみ作りを目指し、行政に頼らず自らが行を起すことでまわりを変えようという信念の下に活動をはじめられました。津波や原子力災害により大変な時ではあるが、大きな変化があった時こそが変わるチャンスではないかと目の前の困難を乗り越える力強いメッセージをいただきました。



小幡忠義氏から活動の様子やクラブの在り方について説明をいただ

今後は、夢のある心豊かな子どもを育む健全なコミュニティと元気な地域づくりを進めるため「塩竈スポーツパークプラン」を考えているとの話もありました。クラブの自主・自立と地域に根ざしたクラブの運営を考えることにおいて大変参考になることが多い視察研修となりました。



視察研修に参加した相馬地区の皆さん

お知らせ

平成28年度スポーツ振興くじ助成金について

【東日本大震災復旧・復興支援助成】の交付申請が始まります。交付申請受付期間は12月1日（火）～12月25日（金）までとなっています。募集の手引き、会計処理の手引をよくお読みのうえ、申請を行ってください。



「発行」公益財団法人福島県体育協会 うつくしま広域スポーツセンター

〒960-8065

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

☎ 024-526-4680 FAX 024-526-4681



<http://www.u-kouiki.jp/>